

| 今までの大阪維新の会の改革実績 |



交通網を強化

阪神圏の高速道路の改革をリード。

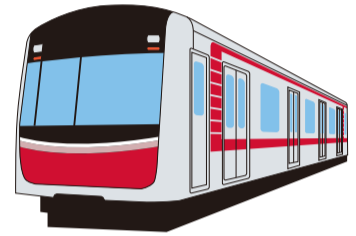
大阪府が国土交通省に働きかけた結果、阪神圏の高速道路の料金一元化等を協議する「**国と地方の検討会**」が設置されました。平成29年度を目標に「**阪神圏のシームレスな料金体系導入**」が、国土交通省の基本方針に明記されました。

ミッシングリンク解消へ。

ミッシングリンク(区切れている区間)となっていた淀川左岸線延伸部は、平成27年度に都市計画決定する予定です。

公共交通戦略
4路線を決定しました。

- ▲ 北大阪急行延伸
(平成27年 基本協定締結)
- ▲ 大阪モノレール延伸
(平成26年度 事業化意思決定)
- ▲ なにわ筋線の整備
(JR、南海の梅田直結による
閑空アクセス強化、泉州地域と国土軸の連絡強化)
- ▲ 西梅田十三新大阪
連絡線
(神戸・宝塚方面から
新大阪・なんばへの
アクセス強化)



議会を改革



2つの削減で、**6億円**以上の効果があります。

府議会で議員定数を
109人から**88人**へ削減、
また府議会議員報酬を**30%**削減。



活発な条例提出。

維新議員による条例提出が活発に行われ、議会本来の役割を果たしています。
※国会では内閣による提出、地方議会では執行部による提出が当たり前になっています。

大阪府の施設における
国旗の掲揚及び教職員による
国歌の斉唱に関する条例

職員基本条例

教育基本条例

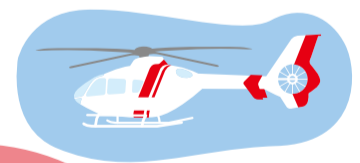
議員定数削減条例

議員報酬削減条例

が、**維新議員により**
提出されました。



地方分権への取り組み



平成21年

「**大阪発**
“地方分権改革”
ビジョン」
を策定しました。

平成22年

全国で初めて府県で構成される
「**関西広域連合**」を
設立しました。
滋賀県 京都府
大阪府 兵庫県
和歌山県 鳥取県
徳島県

平成24年度

政令指定都市
大阪市
堺市
京都市
神戸市
が参画しました。

関西広域連合による
主な実績

- ▲ドクターヘリ運航事業による救急医療体制の充実(平成23年)。
- ▲電力不足に対応した関西地域の節電対策の実施(平成23年)。

府から市町村へ権限を移譲。